

【平成30年度 食育に関する県民の意識調査結果】

調査目的: 県民の食事の状況等を把握し、県が実施する食育の施策に反映する。

調査時期: 平成30年10月26日～11月22日

調査対象: ながさきWEB県政アンケート全モニター 342名

回答状況: 回答者 310名 (回答率 90.6%)

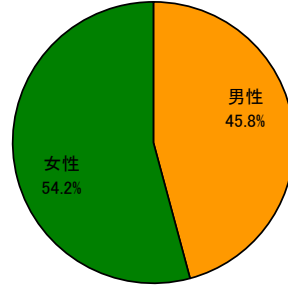
調査担当課: 県民生活部 食品安全・消費生活課

※端数処理のため、構成比が100%にならない場合があります。

《回答者属性》

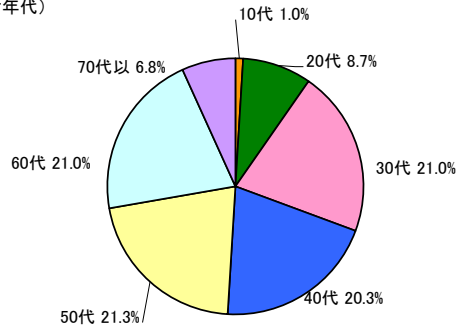
性別	人数	構成比
男性	142	45.8 %
女性	168	54.2 %
計	310	100.0 %

(回答者性別)



年代	人数	構成比
10代	3	1.0 %
20代	27	8.7 %
30代	65	21.0 %
40代	63	20.3 %
50代	66	21.3 %
60代	65	21.0 %
70代以上	21	6.8 %
計	310	100.0 %

(回答者年代)



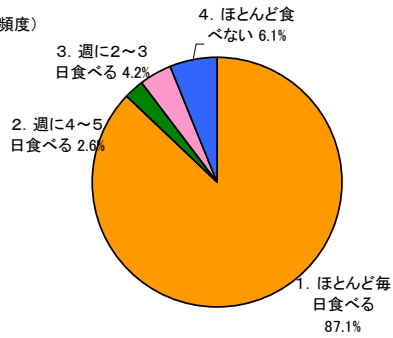
《調査結果》

【「食育」に関する関心度と取組状況】

Q1 あなたのふだんの朝食を食べる頻度について、あてはまるものを1つ選んでください。

回答	回答者数	構成比
1. ほとんど毎日食べる	270	87.1 %
2. 週に4～5日食べる	8	2.6 %
3. 週に2～3日食べる	13	4.2 %
4. ほとんど食べない	19	6.1 %
計	310	100.0 %

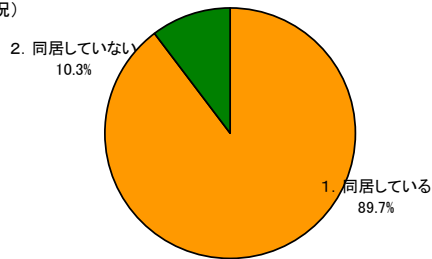
(朝食を食べる頻度)



Q2 あなたは家族と同居していますか。

回答	回答者数	構成比
1. 同居している	278	89.7 %
2. 同居していない	32	10.3 %
計	310	100.0 %

(住居の状況)

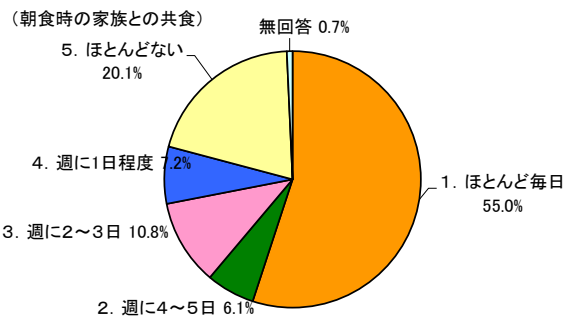


Q3 <家族と同居している方にお尋ねします。>

朝食を家族と一緒に食べることはどれくらいありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

回答	回答者数	構成比
1. ほとんど毎日	153	55.0 %
2. 週に4~5日	17	6.1 %
3. 週に2~3日	30	10.8 %
4. 週に1日程度	20	7.2 %
5. ほとんどない	56	20.1 %
無回答	2	0.7 %
計	278	100.0 %

回答対象者 278人

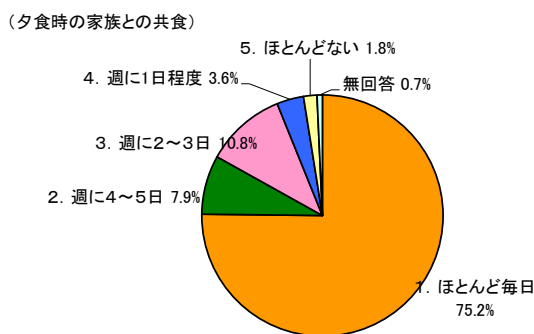


Q4 <家族と同居している方にお尋ねします。>

夕食を家族と一緒に食べることはどれくらいありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

回答	回答者数	構成比
1. ほとんど毎日	209	75.2 %
2. 週に4~5日	22	7.9 %
3. 週に2~3日	30	10.8 %
4. 週に1日程度	10	3.6 %
5. ほとんどない	5	1.8 %
無回答	2	0.7 %
計	278	100.0 %

回答対象者 278人

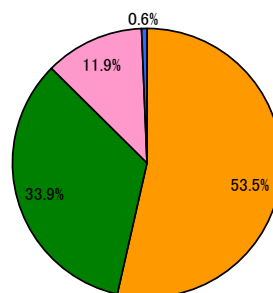


Q5 あなたのふだんの野菜(生、調理したもの、ジュースなど形態は問わない)の摂取に対する考えについて、もっとも近いものを1つ選んでください。

回答	回答者数	構成比
1. 食事の時は野菜を食べるように心がけ、だいたいいつも野菜を食べている	166	53.5 %
2. 食事の時は野菜を食べるように心がけているが、食べられない時もある	105	33.9 %
3. 野菜があれば食べるが、野菜がなくても気にはならない	37	11.9 %
4. 野菜を食べようとは、あまり思わない	2	0.6 %
計	310	100.0 %

(野菜摂取に対する考え)

- 1. 食事の時は野菜を食べるように心がけ、だいたいいつも野菜を食べている
- 2. 食事の時は野菜を食べるように心がけているが、食べられない時もある
- 3. 野菜があれば食べるが、野菜がなくても気にはならない
- 4. 野菜を食べようとは、あまり思わない

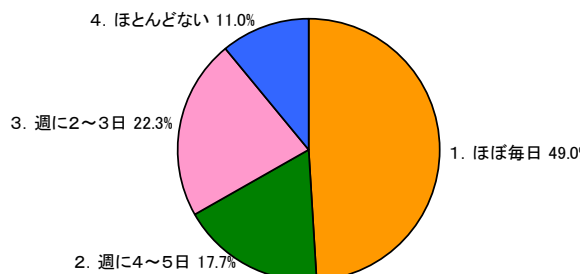


Q6 主食(ごはん、パン、めんなど)・主菜(肉・魚・卵・大豆製品などを使った料理)・副菜(野菜・きのこ・いも・海藻などを使った料理)を3つそろえて食べることが1日に2回以上あるのは、週に何日ありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

「主食」とは、米、パン、めん類などの穀類で、主として糖質エネルギーの供給源となるものです。「主菜」とは、魚や肉、卵、大豆製品などを使った副食の中心となる料理で、主として良質たんぱく質や脂肪の供給源となるものです。「副菜」とは、野菜などを使った料理で、主食と主菜に不足するビタミン、ミネラル、食物繊維などを補う重要な役割を果たしています。

回答	回答者数	構成比
1. ほぼ毎日	152	49.0 %
2. 週に4~5日	55	17.7 %
3. 週に2~3日	69	22.3 %
4. ほとんどない	34	11.0 %
計	310	100.0 %

(主食・主菜・副菜のそろった食事をする頻度)



Q7 食について、どのようなことに興味がありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

回答	回答数	割合※
1. 栄養バランスのよい食事例	239	77.1 %
2. 料理のレシピや技術	128	41.3 %
3. 食品の安全に関すること	171	55.2 %
4. 健康食品	63	20.3 %
5. 食事のマナーや挨拶	97	31.3 %
6. 地域の特産食材や郷土料理	107	34.5 %
7. 食料自給率の低下	46	14.8 %
8. 食品廃棄物の増加	99	31.9 %
9. 特に関心はない	6	1.9 %
10. その他	11	3.5 %

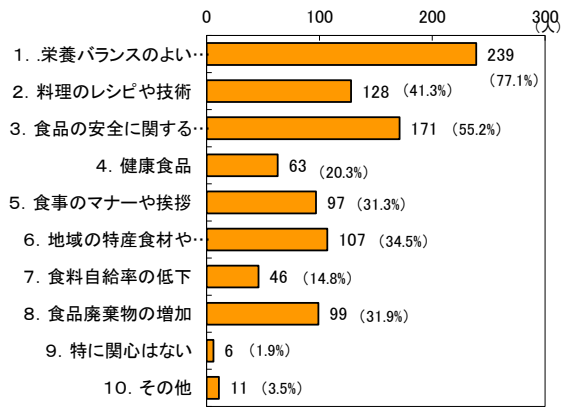
回答対象者 310人

※回答対象者に対する回答数の割合

〈Q7 10. その他意見(一部要約)〉

- ・残留農薬
- ・料理のおいしさ
- ・学校給食における有機野菜の使用
- ・食品添加物の科学的根拠に基づいた情報
- ・家族と一緒に食卓を囲む大切さ
- ・自ら野菜を作り、農薬、添加物を気にせず家族で食べる

(食に関して興味があること)



Q8 食の安全について、どのようなことに不安を感じますか。あてはまるものをすべて選んでください。

回答	回答数	割合※
1. 輸入食品	222	71.6 %
2. 残留農薬	201	64.8 %
3. 環境からの汚染化学物質	157	50.6 %
4. 食品添加物	202	65.2 %
5. 食品表示	69	22.3 %
6. 食中毒	140	45.2 %
7. 遺伝子組換え食品	118	38.1 %
8. 健康食品	25	8.1 %
9. 食物アレルギー	66	21.3 %
10. 放射性物質	88	28.4 %
11. 特に不安はない	8	2.6 %
12. その他	3	1.0 %

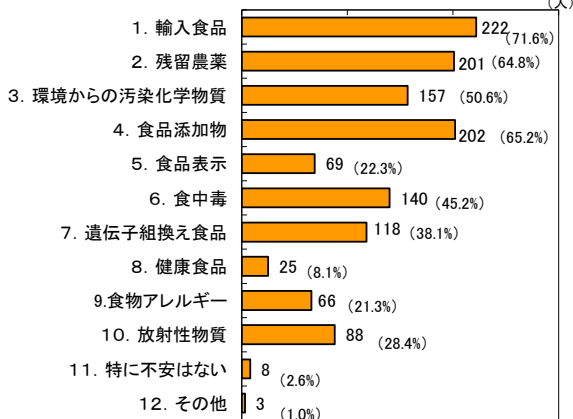
回答対象者 310人

※回答対象者に対する回答数の割合

〈Q8 12. その他意見(一部要約)〉

- ・コンビニ商品の安全性

(食の安全に関する不安)



Q9 食に関する情報の入手方法について得たことがあるものをすべて選んでください。

回答	回答数	割合※
1. 料理レシピや作り方のインターネットサイト	232	74.8 %
2. テレビの料理番組	200	64.5 %
3. 本や雑誌	186	60.0 %
4. 県及び市・町が発行する情報誌(広報誌等)	85	27.4 %
5. 長崎県食品安全・消費生活課のホームページ	15	4.8 %
6. びわ太郎食育通信(長崎県食品安全・消費生活課発行)	2	0.6 %
7. その他	14	4.5 %

回答対象者 310人

※回答対象者に対する回答数の割合

〈Q9 7. その他意見(一部要約)〉

- ・新聞記事
- ・知人・友人からの情報
- ・地域のイベント
- ・農水省HP

(情報入手先)

